

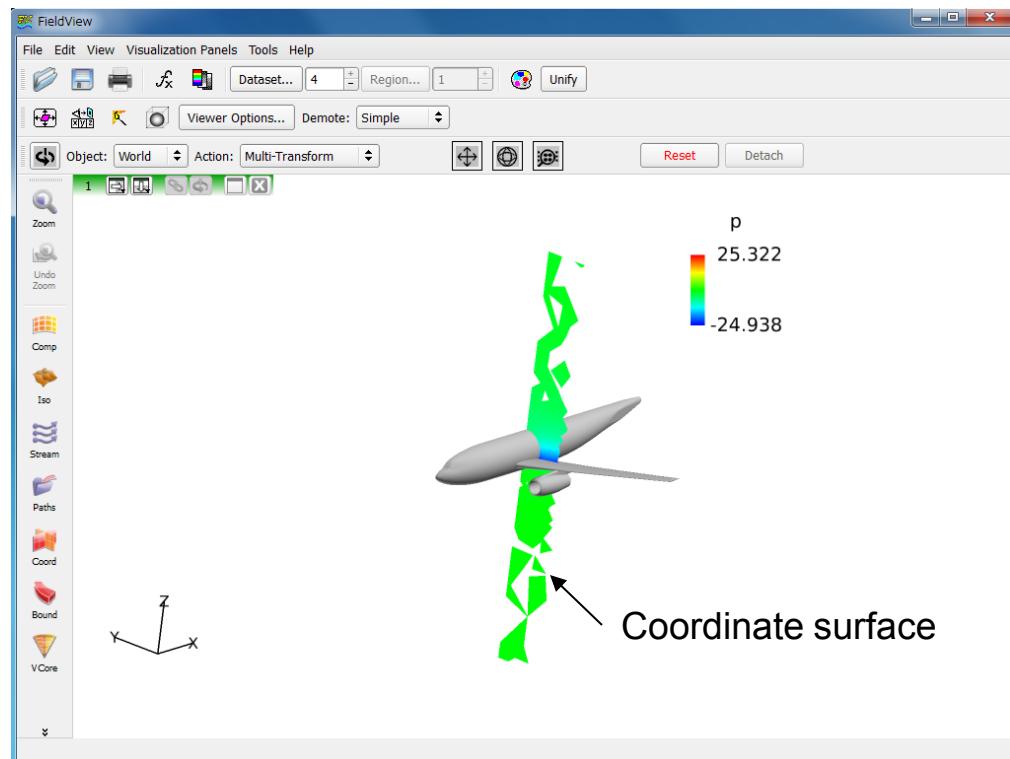
CFD/CAEインテリジェント・ポストプロセッサ



PL026_Partitioned File Parallel Reader
(PFPR) 機能

株式会社 **ヴァイナス**

近年、流体ソルバ側の並列化処理に伴い、各ブロック(グリッド)領域の結果を個々のファイルとして出力することが増えています。FieldView ではこのような領域分けされた*.uns ファイル(plot3d も含む)同士をつなぐ方法として Partition File Parallel Reader (PFPR) 機能が用意されています。各*.uns ファイルを仲立ちする情報を記載したLayout ファイルを用意することで全領域、1データセットとして扱えます。



[4つの領域で並列計算した例]

飛行機を色分けしている部分で
4領域分割されています。
それぞれの領域が1つのFV-UNS
ファイルになっています。
個別のFV-UNS をappend
読み込みしたために、dataset が
別個になります
(Coordinate Surface などが個別表示)

*左の例は、非構造格子なので、
領域の継ぎ目がギザギザに
なっています。

《Partitioned File Parallel Reader を利用するにあたっての 注意点》

- ✓ 並列化処理(Local license parallelモード:FAQ PL001、client-serverモード:FAQ PL011参照)を行っているとき
にしか利用できません。
- ✓ 読み込む分割ファイル数の制限はありません。ただし分割ファイル数により使用コア数が以下のように変化し
ますのでご注意ください。

(8CPUsの端末を使用した場合)

- ・分割ファイル数が8個以下の場合
使用コア数 = 分割ファイル数
- ・分割ファイル数が8個以上の場合
使用コア数 = 8

《Partitioned File Parallel Reader を利用するにあたって用意するもの》

✓ Parallel 処理環境

Windows 64bit でも並列化していればご利用いただけます

✓ 結果データ

読み込む結果ファイル。添付のサンプルでは以下のファイルがあります。

proc00.uns、proc01.uns、proc02.uns、proc03.uns

✓ Layout ファイル

並列処理する内容を記述したファイル

添付のサンプルファイル(sample.layout)では以下の内容が記載されています。

お使いの環境に合わせて「machine_name」と「D:¥work¥sample」を変更してください。

```
FIELDVIEW LAYOUT 1
proc00.uns
machine_name
D:¥work¥sample
proc01.uns
machine_name
D:¥work¥sample
...
```

- proc00.uns : 読み込むファイル名
- machine_name : ご使用の端末のマシン名
- D:¥work¥sample : 保存しているディレクトリ

《Partitioned File Parallel Reader の実行手順》

✓ 並列化の設定

以下いずれかの方法で並列化の設定を行ってください。

Local license parallelモード:FAQ PL001、client-serverモード:FAQ PL011参照

✓ Layout ファイルの読み込み

「Data Input」→「FV-UNS...」より「Read Grid or Combined Data...」を選択。

sample.layoutファイルを開く

